



2021年度 第17期 事業計画書
2021年3月14日総会承認

特定非営利活動法人フリー・サ・ナルドレン・シャバン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F

TEL : 03-6321-8948

Email:info@ftcj.org

URL : <http://www.ftcj.org>

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2021年 事業計画
2021年1月1日から2021年12月31日まで

I. 2020年度の事業実施方針

新型コロナウィルス感染拡大から1年が経過しても未だに収束の気配が訪れていない状況ですが、ワクチンが開発され接種が徐々に行われ各国では何とかその勢いを鎮めようと対策がとられています。しかし、コロナの感染が抑えられたとしても、貧困に陥った人々がそこから脱却するにはかなりの時間を要することが予想されます。国際NGOオックスファムは1月25日に「不平等なウィルス」というタイトルの報告書を発表し、コロナウィルスによる危機で世界中で不平等が拡大しており、「世界で最も裕福な1000人は、新型コロナウィルスによる損失をわずか9ヶ月以内に取り戻したが、世界の最貧困層が損失から回復するには10年以上かかる可能性がある」と指摘し、新型コロナウィルスによる影響は平等ではないという事実を強調しました。

「貧困や差別から子どもを解放する」というミッションを掲げているフリー・ザ・チルドレン・ジャパン(FTCJ)としては、ミッションの達成に向けて国内外での子どもの権利保障のために、しっかりと活動しなくては、と感じています。そのために、国際協力事業の見直しと、国内の子どもを巡る教育格差の解消に向けて、FTCJらしく活動していきたいと考えています。そこで、「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」の組織基盤強化のための助成金を活用し、どのような活動が有効かを考える中長期計画の策定を2021年度を通じて行いたいと考えています。

コロナ感染拡大がみられることから、毎年恒例に開催していた国際協力の現場を訪問するスタディツアーやオンラインでのリーダーシップのための「テイクアクション・キャンプ」の実施は難しいことが予想されるため、形を変えたり時期をみたりして取り組む予定です。昨年延期とした、日本初のWE DayはカナダのWEの解散を受けて、今後、本国カナダでWE Dayの開催が行われない可能性があることから、日本独自の路線で取組むことにしました。イベント名は、「Change Makers Fes（チェンジメーカー・フェス）」という新しい名前で今後実施していく予定です。

日本で活動を開始して22年目を迎える、コロナ感染拡大によって生活様式や価値観の変化があることから、FTCJの掲げるビジョンやミッションとの整合性のある事業とはどういった活動なのか、どのような活動に注力し、どういった方向性で今後活動すべきかを立ち止まって考える年であると感じています。2020年に引き続き、子どもが安心して楽しく主体的に活動できる環境づくりに向け、時代の流れと変化やニーズに応じて対応やルールを柔軟に見直し進化する重要性を感じています。そのために、経験や立場に関わらず団体に関わるメンバー・スタッフ・ボランティア・サポーターの皆さんとの声を聴きながら、FTCJらしいより良い活動に取り組めるよう努めたいと考えています。

これらの状況や課題を踏まえ、2021年度は下記の活動に注力したいと計画しています。

▼2021年度重点活動

1. 組織基盤強化の中長期計画の策定
2. チェンジメーカー・フェスのオンライン開催
3. 子どもの権利保障のための政策提言活動
4. WE教育プログラム（子ども若者が、社会課題に向き合い解決に向けたアクションを起こして いくサービスラーニングプログラム）を全国の学校や青少年グループに対して展開していくための取り組み
5. 日本の子どもや若者のウェルビーイングのための教材開発
6. 権利が守られていない国内外の子どもに対し、受益者やパートナー団体の声を聴きながらともに取り組む支援活動の実施。

以上、改めまして、FTCJを応援とともに歩んでくださるメンバー・サポーターの皆さんに心より感謝いたします。
2021年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

代表理事 中島 早苗

2021年度事業実施に関する計画

<WE Movement>

・子ども主体活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
子どもアンバサダー企画活動	2021年度のアンバサダー（旧子ども代表委員）を募集し、アンバサダーがファシリテーターとなってフリーザチャイルドレンのメンバーを繋ぐイベントを実施。また、自分がおこなったソーシャルアクションをブログやSNSで発信する取り組みも促す。また、アンバサダーは総会へ出席し組織運営について意見することができる。	通年	全国	子どもメンバーアウトドア約800人～	200
メンバーチーム活動	メンバー登録する子どもやユースが目的に応じてチームを組んでの活動する。 ▼チョコレートプロジェクト コロナウイルスの感染状況を鑑みて実施	通年	全国	子どもメンバーアウトドア約800人～	100

・子ども活動応援

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
子ども若者育成	Take Action Campの実施 日本国内でオンラインまたはオフラインでキャンプを3回以上実施する。 (Take Action Campとは、子どもや若者が国内外の社会問題を知り、その解決に向けてアクションをおこすためのノウハウを学び、自分に何ができるかを考えるための合宿型育成研修イベント)	春・夏・冬 3日～5日のプログラムを3回以上実施	日本	国内の子ども・ユース90人	2,500
	ファシリテーター育成活動 リーダーシップトレーニングキャンプやワークショップを実施するためのファシリテータースタッフの育成をする。子どもの権利を理解、尊重し、子どもに接することができるような人材育成をする。また、育てたファシリテーターの活躍の場を提供する。	通年	主に東京都	全国のユース30人	1,250
	グローバルチャレンジプログラムの実施 EFと連携して実施するグローバルチャレンジプログラムはコロナウイルスの感染状況みながら開催を検討する。（カナダ、アメリカのWEとの連携しての開催は情報収集を継続して行う）	コロナウイルスの感染状況みながら開催を検討	カナダ・アメリカ等	—	—
	スタディツアーノミナル 今年度はスタディツアーノミナルはコロナウイルスの感染状況を鑑みて実施しない予定	—	—	—	—

子どもメンバー活動サポート	①子どもやユースメンバーなどで構成される活動チームの育成、サポート、チームの存在を紹介する広報活動を実施。	通年	全国	チームに所属する全国の子ども達80人	1,200
	▼WE Are the Movement 子ども・ユースメンバーからプロジェクト企画を募り、選考し、選ばれたプロジェクトの実施のサポートを事務局で行う。また選ばれたメンバーはFesのアンバサダーとしても活動してもらう。採用プロジェクト数は6件を予定。				
	②子どもメンバーのギャザリング 年に1回同窓会、活動発表の場を設け交流を図る	通年	全国	子どもメンバー(約800人~)	150
	③全国の子どもメンバーからの質問、活動へのサポート 子ども達からの質問対応、情報提供などまた、子どもが活動しやすい会員制度の検討	通年	全国	子どもメンバー(約800人~)	500

・外部ネットワーク活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
外部ネットワーク構築	①CL-Net(児童労働ネットワーク)・NGO労組協働フォーラムへの運営委員参加と事業実施 ②JNNE(途上国の子ども教育支援事業NGOのネットワーク)への運営委員参加と事業実施 ③他組織の会員になって他団体と繋がって活動する。 ④「広げよう！子どもの権利条約」キャンペーンの運営と参加 ⑤フェアトレードタウンを世田谷で推進するためのネットワークへの参加 ⑥関西でのNGO/NPOネットワークへの参加	通年	全国	子どもの権利を侵害されている開発途上国及び国内の子ども	2,000

・アドボカシー（啓発）活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
WE教育プログラム	①教材開発 SDGsや社会問題を学び、解決にむけたアクションがとれるようにするための教材を開発と普及。 ② WESchools全国展開 全国の学校など教育機関に、WE Schoolsの周知を行い、登録を促す。学校との連携事業を強化する。	通年	全国	全国の子ども達・一般人： 10,000人 教員：100人	4,000
WE Talk "SOCIAL"	参加者が社会問題について学び、ディスカッションを通じて学びを深めるためのイベントを開催する。 キャンプで養成した大学生やその他のメンバーを中心となって、ファシリテーターを担う。（ワークショップ、講義形式どちらもあり） 開催方法：オンラインイベントを軸として企画 開催時期：年3回以上は実施する	通年	全国	全国の子ども達・一般人：100人	500
出前授業	全国出張講演 国際協力や国際理解教育、人権教育に関心のある学校や地域、団体などからの要請を受け、出張講演を実施する。 2021年目標：オンラインオフライン計100校での実施を目指す。	通年	全国	全国の子ども・一般人： 10,000人 教員：100人	4,000
イベント	他団体主催によるイベントへの参加及びFTCJ主催イベントの開催： ▼他団体主催イベント パネル展示、動画上映、スピーチなどを通して、権利を奪われた子どもの現状や団体活動紹介をする。 同時に可能であれば物販活動も行う。 コロナ禍の影響が未知数のため参加先未定。 ▼FTCJ主催イベント フードドライブキャンペーンと連動して団体主催のハロウィンイベント（チャリティイベント）を秋に開催する。Fesとの連動全国イベントとして開催する。	通年	全国	全国の子ども達・一般人 10,000人	1,500
メールマガジン/ニュースレター/アニュアルレポート発行	①メールマガジンを毎月2回発行する。 ②ニュースレター（年3回）を発行する ③アニュアルレポート（年1回）を発行する。（各750部）	通年	団体オフィス	全国の子ども達・一般人 3,000人	1,000

ホームページの運営	①ホームページの更新。 ②サーバー管理	通年	団体オフィス	全国の子ども・教育関係者・その他一般 10,000人	1,000
物販・貸出	貧困層の自立につながるフェアトレード商品や国際理解教育教材（DVD）や書籍などの仕入れ、紹介、販売、管理を行う。また店舗での委託販売先の開拓も開始する。 ▼児童労働シュミレーションカードゲーム等の教材販売促進キャンペーンを実施 ▼子どもが文化祭等で販売する商品の開発の継続 ▼オンラインショップを通じた販売の促進 2021年目標：収益80万円を目指す	通年	全国	全国のメンバ 800人～ 購入者 100人～	900
団体広報	①キッズパワー募金の広報 団体の活動をわかりやすく伝え、団体を支えていただく人を増やしていく ②動画作成 先生や子どもたちのニーズに合わせて動画などを作成	通年	全国	全国の子ども・教育関係者・その他一般 10,000人	300
オフィス訪問対応	学校単位での訪問・インターの受け入れ、ボランティア、来客対応	通年	団体オフィス	月1回ボランティアデー、事務所訪問など	450

・ Change Makers Fes (旧WEDAY)

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
Change makers fes開催	社会貢献活動をおこなった子どもや若者をエンパワーするFesを3月20日オンライン開催する	通年	全国	全国の子ども達 2000人～	11,000
Change makers fes開催	22年はオフライン・オンライン両方の開催を視野に入れて準備を進める。	通年	全国	全国の子ども達 2000人～	5,000

自立支援事業：Free The Childrenプログラム
 ・海外事業

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
	【CCD支援】 西ベンガル州コルカタ付近にある現地NGO・CCDを通じて貧困地域へ教育支援や食糧支援、健康支援事業を行う。また日本の支援者と受益者の子どもと手紙を通じた交流「文通プログラム」を運営する。	通年	西ベンガル州	貧困地域4000人	1,000
インド	【リムラスクール支援活動】 マハーラーシュトラ州ムンバイ市内スラム地域にあるムスリムの子どもを対象にした小学校リムラスクールに通う生活困窮家庭への奨学金支援。「文通プログラム」やその他寄付によって質の良い基礎教育の提供を行い、子どもの自立を支援する。	通年	マハーラーシュトラ州	スラム地域に暮らすムスリムの子ども15人	1,500
	【ミンダナオ島コミュニティ支援】 手紙を通じた交流「文通プログラム」の運営を通じた資金をもとに、ミンダナオ島内の先住民族の子どもへの教育支援を行う。	通年	フィリピンミンダナオ島	先住民族の子ども達60人	700
フィリピン	【プレダ基金子ども支援】 フィリピンのパートナーNGOプレダ基金を通じて、虐待を受けた子どもや、路上生活を強いられたり、法に抵触した子どもの自立に向けた包括的な支援を行う。	通年	ルソン島	貧困農村地域住民・虐待や刑務所などから救出された子ども200人	500
	【ピースビルディング事業】 コロナ感染が落ち着いたら、2018年に紛争被害を受けたミンダナオ島マラウィ市のムスリムの子どもを対象に、ピースビルディングと子どものウェルビーイングのための子どもの権利をベースとした支援活動を行う。	6月以降	マラウィ市	300人	1,000
	【障害者支援】 視覚障害者を対象に、自立に向けた教育支援を行う。	通年	フィリピン	100人	3,000
ケニア	【FTCネットワーク活動】 ナロック群南ナロック県エシノニ村を対象に、先住民族の人々の健康向上のための包括的な保健支援を行う。また、先住民族の女の子が質の良い教育を受けられるよう、女子教育拡充支援を行う。	通年	ケニア	支援先農村の村民1500人	1,200

・国内事業

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
国内の子ども支援	【キャンプ・スカラシップ支援】経済的な理由などでキャンプへの参加をあきらめざるを得ない子ども達を対象にキャンプに無料で参加できるよう支援する。 【食料支援】経済的な理由などで、健康的で安全な食材を使った食事を取りづらい状況にある子どもとその家族に向けて、お弁当の提供を行ったり、文房具の提供など支援を行う。	通年	全国	国内の生きづらさを感じている子ども1,000人	3,000

管理部・その他 この法人の目的を達成するために必要な事業に関する計画
管理部

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業予算(千円)
翻訳	事業の運営に関する資料を日・英に翻訳	通年	東京	30	60
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため研修を受講 事業実行のためのスキルアップ	通年	東京	8	100
個人情報管理	メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行う	通年	東京	4	150
ファンディング	サポーター増強のためのWEBサイトの更新、googleアナリティクスの運用など	通年	東京	3	200
問い合わせ対応	事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへの返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	480
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し、税務関係資料作成や帳簿を付けるなどの業務を実施	通年	東京	2	2100
理事会・事務局運営	・Panasonicの組織基盤強化助成金を活用し、外部コンサルティングを入れ、国内の子ども支援の方針を明確にし、中長期計画を策定する。 ・事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	1000
その他	オンラインで労働環境の構築（ZOOMやバーチャルオフィスの利用等）	通年	東京	5	100

3 2021年次の役員の選任に関する事項

a) 理事会役員について 理事会より2021年次の理事および監事の候補の方々を紹介します。(順不同)

新・継続	氏名	役職	居所	紹介文
継続	中島 早苗 (なかじま さなえ)	代表理事	東京	FTCを日本で紹介しFTCJを1999年に設立して以来、活動に従事。04~05年度代表理事に就任後06~09年度に副代表理事兼事務局長に就任、10年度から代表理事に再任。
継続	永野 恵理 (ながの れり)	副代表理事	千葉	02年から活動に携わり、04~06年度に理事として就任。事務局で子ども活動応援事業やNL編集、その他管理にかかわる活動を担当後、07年度より副代表理事に就任。
継続	出野 恵子 (いでの けいこ)	副代表理事	東京	03年度より海外自立支援のインドを担当し、活動に従事。07年度より理事に就任。09~11年度まで事務局長を兼任し事業運営のほか組織基盤強化を担当。
継続	志賀 アリカ (しが ありか)	理事	千葉	09~11年度まで子ども代表委員として活動に参加し事務局運営や子ども主体事業企画運営に携わり、子どもメンバーとして積極的に活動を展開。2012年よりユース理事に就任。16年より社会人理事。
継続	藤井 裕子 (ふじい ゆうこ)	理事	兵庫	2007年にフィリピンへのスタディツアーに参加して以来、正会員として団体の組織運営を始め、関西での子どもの活動や出張講演サポートなど活動に従事。2016年から理事に就任。
継続	竹内 美紗子 (たけうち みさこ) 旧姓:佐藤 さとう	理事	東京	高校生の時にFTCJのメンバーとなり、支部活動や、フィリピンのスタディツアーなど様々な活動に参加。大学生の時に、事務局運営ボランティアとして業務をサポートし活動を支えた。2017年度より理事に就任。
継続	風間 ゆたか (かざま ゆたか)	理事	東京	2男1女の父。世田谷区議として保育と教育の環境改善に取組中。ベンチャー創業役員を経て、区議の他、教育プロジェクトのマネジメントに関わっている。東京や世田谷の学校との連携事業確立に向け2017年度より理事に就任。
継続	林 大介 (はやし だいすけ)	理事	東京	東洋大学社会学部助教、子どもの権利条約ネットワーク事務局長、川崎市子どもの権利委員会委員、模擬選挙推進ネットワーク事務局長等を就任。1976年東京生まれ3児の父親。FTCJにおける子どもの権利推進擁護活動の充実のため、2017年度より理事に就任。
継続	中島 慎治 (なかじま しんじ)	理事	東京	1999年にフィリピンの子どもの権利活動家の少女ピア(商業的性的搾取の被害者だったが12才の時FTCJのパートナー団体プレダ基金に保護され活動家に)来日時のドキュメンタリー番組を制作したことからFTCJと接点を持つ。NHK報道局チーフプロデューサー。2019年から理事に就任。
継続	伴野 保志 (ともの やすし)	理事	東京	2000年から活動に携わり、04~05年度に副代表理事に就任後06~09年度まで代表理事に就任。事務局では外部ネットワークマネージャー、総務担当として活動。10年度から副代表理事に就任。その後2018年より理事に就任。
継続	松下 耕二 (まつした こうじ)	理事	東京	阪神淡路大震災でACのTVCNを見て、高校生ボランティアに参加。世界を良くするためにCMプランナーを志す。広告会社に勤務。2019年MBA取得、修士論文は「非営利組織の経営戦略」。日本マーケティング学会サロン委員。2児の父。2020年度より理事会より理事に就任。
継続	倉下 由香 (くらした ゆか)	監事 (会計)	東京	2011年度より事務局の会計スタッフとして5年間勤務し、FTCJの活動を支えた。2018年度より新たな会計監事に就任。
継続	宮島 珠 (みやじま たま)	監事 (会計)	神奈川	NPO法人取得から会計監査としてFTCJの活動を支えたのち、2019年の休みを挟み、2020年度より再度会計監事に就任

b)顧問の紹介

☆税理士

◆長田 和弘(おさだ かずひろ) 税理士、中小企業診断士、准認定ファンドレイザー

税理士法人勤務を経て2019年2月長田和弘税理士事務所を開業。中小企業・NPOに対するクラウドソフトによる会計支援、業務効率化支援を中心に実施。経営計画策定支援、資金調達支援、助成金・補助金申請、認定NPO支援などを得意とする。

☆弁護士

平尾潔(ひらお きよし) 弁護士

日本弁護士連合会所属、世田谷区せたがやホッと子どもサポート委員。

☆アドバイザーのご紹介: 2006年度より活動へのアドバイスや活動のための情報提供などを頂いている顧問の方です。

◆堀内 光子 (ほりうち みつこ) 氏

労働問題や女性の権利の分野での研究・専門家。公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 理事長、地球憲章国際審議会委員、児童労働ネットワーク代表。また、2006年よりフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの顧問として活動をサポート。

◆河合 将生 (かわい まさお) 氏

NPO・NGOの組織基盤強化やファンドレイジング、マネジメントのコンサルタントや、組織の協働・連携のコーディネート及び国際協力やキャリア育成に関する相談・講演を行うoffice musubimeの代表